22日にプラチナ大賞発表

大成建設などがエントリー

総務省や経済産業省などが後援する「第8回プラチナ大賞」の最終審査発表会・表彰式が10月22日に東京都千代田区のイイノホールで開催される。水素社会の実現に向けた川崎水素戦略の取り組み（川崎市と川崎臨海部水素ネットワーク協議会が共同応募）や、「日本の明るい未来をつくるために、建設業界における先進的な取り組み～地域で人が育ち、雇用のある、快適な社会づくりを進める全国規模の連携組織「プラチナ構想ネットワーク」の活動の一環。豊かで快適な「プラチナ社会」のモデルを示すことを目的に創設された。

『先進的環境配慮型作業所』『環境配慮型施工』『働き方改革』の標準化を目指して～」（大成建設）などのプレゼンテーションが行われる。

プラチナ大賞は、エコイノベーションによる新産業の創出や、アイデアあふれる方策によって地域の課題を解決し、「プラチナ社会」の目指す姿を体現している、または実現しようとしている全国各地の取り組みを顕彰することで、広く社会に発信することを通じて、具体的なアクションへの理解と浸透を図っている。

高齢者でも参加でき、